

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

地元の名所を守り続ける
これまでも、これからも

菅野 一郎 さん（月舘地域）

植物の手入りを独自に学び、緑の文化財に指定されている「古谷ノ入のアズマヒガン桜」の手入れをする菅野さん。代々引き継いできた役目を全うし、自分らしく生きる。本人は当たり前というが、想いは特別だ。現在に至るまでの、その想いを伺った。



Profile ●かんの いちろう

昭和 28 年生まれ。71 歳。「古谷ノ入東ひがん桜保存会」に所属。保存会として桜の管理を行う。65 歳で会社を退職後も桜の見守りを続ける。



古谷ノ入のアズマヒガン桜

平成 12 年に福島県緑の文化財に登録。樹高 14m、根本周囲 7m の「一本桜」である。伊達市内でも最大級の老桜で、荒々しくも、美しいたたずまい。

毎日、目にするものだから
自宅前に立つアズマヒガン桜は、生まれた時から一緒に育ってきたものだから、思い入れが強くて。愛情をかけると答えてくれるから気持ちも入ります。保存会の会員 10 人のほかに、周囲のスイセンを管理する地元女性の協力があって、このすばらしい風景が保たれています。ここに住み続けるうちは、守っていききたいものと思っています。

今日、何をするか必ず決める
趣味の話になってしまいましたが、桜はもちろん、自宅の庭の手入れも楽しいんですよ。「今日はどこを剪定しよう」「何を植えよう」と、朝起きたら決めて行動するのが日常になっていますね。決めないと、ただ一日が過ぎてしまつて（笑）、それはもったいないですからね。心がけているわけではないけど、好奇心を持ったものは行動しがちです。ゴルフをしたり、秘湯を巡ったり、ウォーキングイベントに参加したりします。あと、音楽や映画！好きな音楽レコードは、合わせると 1000 枚以上あって、癒しです（笑）。心身が健康でいるために大事なものだと思います。

幸せは「小鳥の声」
日常を過ごすことが大事なので、特別な抱負があるわけではありませんが、里山の風景をこれからもきれいに保っていききたいですね。花が咲く季節がいつも待ち遠しくて、朝起きた時の小鳥の声が至福なんです。月舘に来た際は、目から入る情報だけでなく、さまざまな目線から風景を楽しんでほしいです。



開花の時期は、市外からも桜を見ようとたくさんの人が訪れる。小高い丘に立っているため、下からも上からも楽しめる。



ビートルズやジャズは、秘蔵のレコード。夫婦で聴く音楽のジャンルは違えど、音楽はいつも心に潤いを与えてくれるという。